

街のワークスペース相談窓口に オンラインサービスの実証実験に参画

アイリックコーポレーション

アイリックコーポレーションは、街ナカ個室型ワークスペース「CocoDesk(ココデスク)」を使用したオンライン相談サービスの実証実験に参画し、4月22日から保険相談サービスの提供を開始した。同実験に先駆け、4月21日にはメディア向けPRイベントが秋葉原UDX(東京都千代田区)内のココデスク周辺で開催された。

ココデスクは、富士フイルムビジネスインノベーション(株)と東京地下鉄(株)が共創して提供する、都内の駅内やビル内に設置された個室型ワークスペース。今回行われる実証実験では、システム開発のタイムリープ(株)が手掛ける遠隔接客システム「RURA」を活用し、ココデスクをさまざまな

生活関連サービスのオンライン相談の場として、約3カ月間提供する。サービス事業者が従来店舗窓口で行ってきた相談等を、利用者の生活動線上でプライバシーを保ちながら行う「新しい店舗の

談サービスを提供している。

利用者は、ココデスクの入口横にあるタブレット端末で利用サービスを選択し、簡単な質問に答えることで入室できる。スマートフォンやパソコンからの事前予約も可能だ。

入室すると目の前のモニターに「保険クリニック」のスタッフが映り、店舗と同様に保険商品の比較・分析を行う「保険

商品の一覧が表示され、これらと比較・検討して自分に合った商品を選択できる。随時スタッフへの質問も可能なため、実際に店舗にいるような感覚で情報を閲覧できる。近年、ビジネスシーンでは新型コロナウイルスの影響に伴うテレワークの増加により、オフィス

プライバシー守り安心感提供

「形」を提案するものとなる。

実証実験に参画したアイリックコーポレーションは、「保険クリニック」のオンライン保険相

「IQシステム」を使った提案が受けられる。年齢や希望する入院給付金など、スタッフからの質問にいくつか答えていくと、モニターに保険

活関連サービスにも広がりを見せる一方、新たな課題も生まれている。

例えば、「自宅やカフェなど周囲に人がいる環境では、プライバシーに



入室操作をするタブレット端末

関する内容は話しづらい」「通信環境やパソコンなど、必要な設備が整っておらず手軽にできない」といった声がサービス利用者からは挙がっている。アイリックコーポ

レーションは、こうした社会背景を受けて今回の実験への参画を決めた。実験は東京メトロ溜池山王駅、秋葉原UDX、京急川崎駅、田町センタービル、ジョイナステラ

ス二保川の5カ所のココデスクで行われている。アイリックコーポレーションの保険相談に加え、アディール法律事務所との法律相談、Amazon Property

(株)の不動産賃貸相談、ダイヤル・サービス(株)のメンタルヘルスサポート、Marri-Ciel(株)の占いの五つのサービスがオンラインで展開されている。



CocoDesk外観